

Title	編集後記
Sub Title	
Author	黒田, 裕樹(Kuroda, Hiroki)
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2024
Jtitle	Keio SFC journal Vol.24, No.1 (2024.) ,p.78- 78
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11671240-00240001-0078

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

本号を手にして驚かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そうなんです。本誌のサイズが A5 判から A4 判に大きくなり、全ページがカラー印刷となりました。私が編集長に就任した際に目指した目標である、完全オープンアクセス化、全報への DOI 付与(電子版の学術論文や書籍に対して一意に割り当てられる識別子)、A4 化、そしてオールカラー化が、本号でついに実現しました。これもひとえに、SFC JOURNAL 編集委員の先生方、慶應 SFC 学会事務局、慶應義塾のメディアセンターの方々、そして印刷会社の皆様のご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

さて、本号の内容についてですが、KEIO SFC JOURNAL では 2022 年度より、9 月に発刊される号については特集を組まない形式(自由論題のみからなる形式)で発刊することになりました。SFC が関わる研究は年々多様化しており、特集が組まれることで、特集と関係のない分野の方々が投稿しづらくなる状況を踏まえて、の決定です。その一方で、特集がないために原稿数が限定的になるという危機感もありましたが、幸いにも今号には 4 本の研究論文、1 本の実践報告、そして 1 本の研究ノートが掲載される運びとなりました。内容も、都市機能、乳がん患者のケア、現代中国事情、図書館と著作権法、キャリア教育の効果、そして経済安全保障政策に関する研究と、多岐にわたっています。ぜひ、分野を超えた学問が交錯する「SFC 学」をご堪能いただければ幸いです。

また、2020 年度以来、SFC 生を対象とした表紙デザインの募集を実施してまいりました。毎回、SFC 生による力作が数多く寄せられています。表紙に選ばれた作品はもちろんのこと、惜しくも選ばれなかった作品の中にも優れたものが多数存在しています。今号からオールカラー化が実現したこともあり、それらも併せて紹介しております。SFC 生のデザイン力の高さもぜひご確認ください。

最後に、記念すべき情報を読者の皆様と共有させていただきます。本号に掲載された論文を含めると、政策・メディア研究科の学生が第一著者として SFC JOURNAL に掲載した論文および報告の総数が 100 を超えました。これは、SFC JOURNAL が学生教育に貢献してきた証の一つだと信じております。今後も 200 報を目指して邁進してまいります(私が編集長の間を実現するのは無理ですが…)。今後ともご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024 年 7 月 19 日

黒田 裕樹

KEIO SFC JOURNAL 編集長